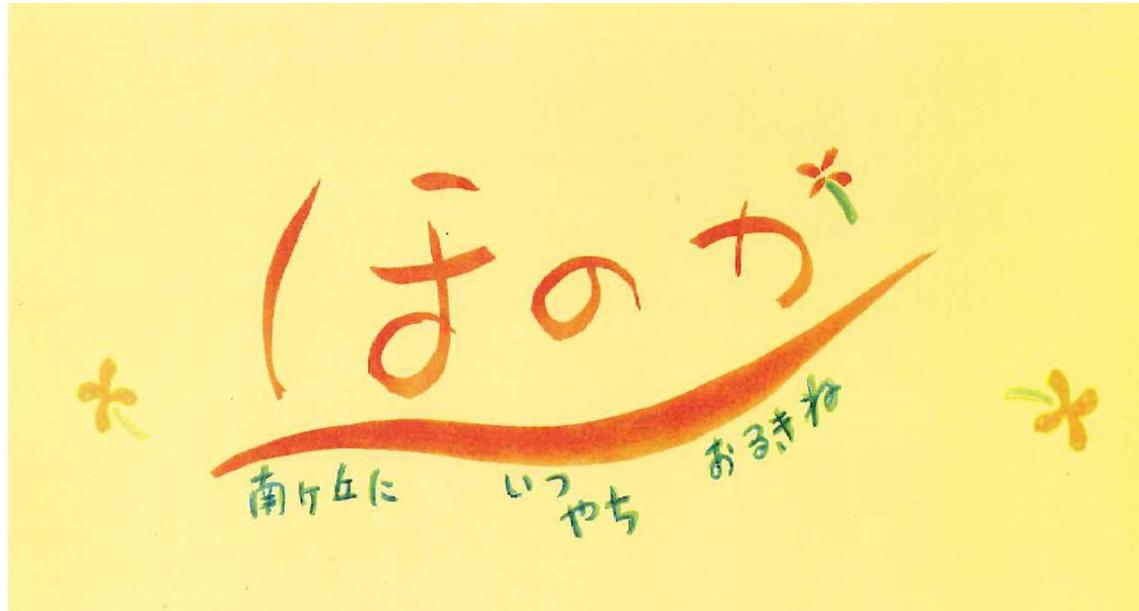


ほのか ノーリフティングケア宣言！



社会福祉法人高春福社会

小規模多機能居宅介護事業所 ほのか



施設紹介

理念

『一人を・仲間を大切に！！地域共に！！』
支えあう

- 施設種別：小規模多機能型居宅介護事業所
- 登録定員数：25名
 - 通い：15名
 - 泊り：5名



○スタッフ数 職種別（R4.1現在）

管理者 1名

介護支援専門員 1名

介護職員 9名

看護師 1名

理学療法士 1名



取り組み経過

○ノーリフティングケア実施していく

以前より法人内でのノーリフティングケアの内部研修を受けていたが外部研修は受けておらず、令和2年8月に理学療法士が勤務するようになり、徐々に現場で実践されていくようになる。

この時点はマルチグローブ2個、スライディングシート2枚事業所にあったが使用頻度は少なかった。

その後、利用者様のカンファレンス、腰痛調査アンケート、内部研修等、を行っていく。



研修参加

- 令和元年12月～ ノーリフティングマイスター、
技術教育リーダー養成講座参加 1名取得
- 令和3年3月～ ノーリフトケアコーディネーター養成講座
ベーシック 1名取得
- 令和3年8月～ ノーリフティングマイスター参加 1名



使用している福祉用具

- スライディングシート …3枚
- 介護用グローブ …全職員に配布
- 必要に応じて同法人から借りる



ほのかの取り組み内容

- 腰痛調査アンケートから各職員別に日常動作指導、介護動作指導、筋緊張をほぐす、運動等のアドバイスをを行っている。
- 内部研修をして利用者様の現状～予測される状態までの細かい技術指導を行う。
- 利用者家族に対して介助方法や福祉用具のアドバイスを行っている。



内部研修1

ベッド側臥位

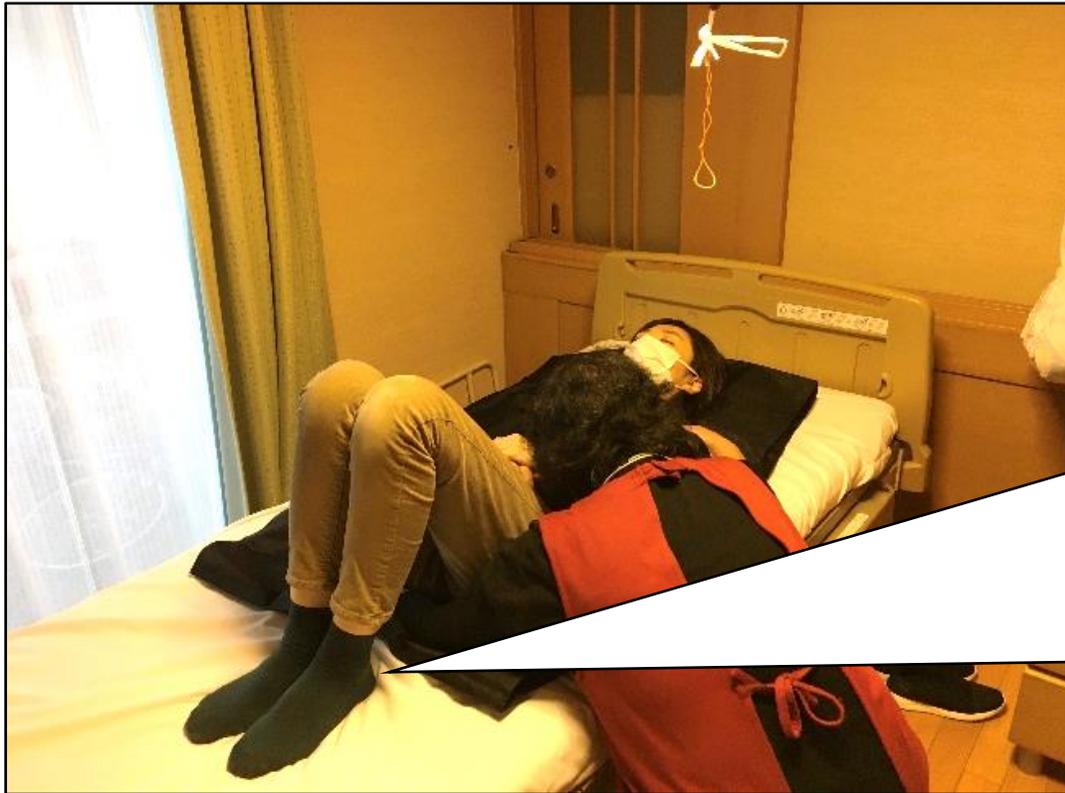
・側臥位後の姿勢をしっかりと作るようにする

・介助側の姿勢が中腰にならないように気をつける(足の位置を確認)



内部研修2

シートでの上下移動



・腕をしっかりお尻にあてて反対側の骨盤を支えるように腕を入れる。

・介助者は移動先に体を向けるようにする。(足の位置を確認)



内部研修3

シート抜き取り

・腰の浮いている部分まで
しっかりシートをまとめるよう
に集めてくる。

・介助者は利用者の骨盤に
手を当てシートを下に抜くよ
うに意識をする。



実践した職員の感想

- シートの抜き方が楽になった。
- 足底への荷重をかけるのを忘れてたり、足底への荷重のかけ方が難しかった。
- 体の使い方がうまくできず、腕に力を入れていることが多かった

ノーリフティングケアを実践して

- 職員の腰痛も含め体の不調が軽減した。
- 職員からの筋肉トレーニングの方法や体の使い方、運動等の相談が増えた。
- 2名介助で行っていた利用者様の支援が1名で行えるようになった。
- 寝たきりの状態の利用者様の自宅支援も職員一人で負担なく行う事ができた。



今後の取り組み予定

- 介助時の姿勢、体の使い方を覚える。
(ノーリフティングマニュアル・チェックリストを活用)
- ノーリフティングケアを理解し、家族様に伝えることができる。
- 定期的な内部研修を行い、各利用者にあつた技術を身に付ける



さいごに

- 自宅での生活を維持するために生活環境を整え、利用者、介助者双方に負担の少ないケアを実践していく必要があると思います。
- 全職員が各利用者に合ったノーリフティングケアを実践する事ができ又家族様へアドバイス、技術指導ができる様にしていきたいです。

